

ドリームスエフエム放送(株) 第124回番組審議会議事録

1 開催日時

令和4年2月22日(火)

2 開催場所

今回の放送番組審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は開催せず各委員が聴取レポートを提出し、関係各位が閲覧、感想や要望を共有する形とした。

3 出席委員

審議委員:田中 優子、塚本 弘道、曾山 茂志、酒井 香、佐野 幹法

放送事業者側:秋穂 真由美 内藤 圭祐

4 議 題

番組名:「まちに夢をひろげようプロジェクト 地元高校ラジオ入試説明会」(生放送)

放送期間:令和3年11月8日(月)~11月25日(木)

パーソナリティ:たけうちいづる・柿本里那・中嶋順子

*審議対象は11月8日(月)、10日(水)、22日(月)放送分

5 番組内容

新型コロナウイルスの影響で、予定されていた体験入学に参加できなかった受験生や仕事で学校説明会に出席できない保護者の皆さんに向けて、福岡県第8学区とよばれる久留米市と小郡市エリアの公立・私立高校から担当教員をゲストに迎え、学校の特色と受験内容をラジオで紹介する特別番組を久留米市教育委員会、福岡県教育委員会、各私立高校の協力で、久留米市立3校(組合立含む)、県立7校、私立3校の合計13校を紹介しました。後日、放送を聴けなかった受験生・保護者の皆さんが聴取できるようにアーカイブ化し、当社公式Youtubeチャンネルでも配信しました。

6 審議内容

番組を視聴いただき、下記のような感想・意見を述べていただきました。

(委員意見)

- ① 新型コロナウイルスの影響で参加が難しくなっている入試説明会を、ラジオを通して実施するというコンセプトは大変有意義な企画だった。
- ② 在校生の声が聞こえるのも受験生にとってはうれしいことだろう。(明善高校)
- ③ 学校紹介は教師より生徒に語ってもらった方が伝わるような気もした。
- ④ 卒業生の声も交えてみていいと思った。
- ⑤ 視覚情報がない分、各コースの紹介の際等、わかりにくいときもあった。祐誠高校の中で、「詳しくはHPをご覧ください」という文言があったように思うが、そのようにHP等で補うという前提で、要点だけを伝えるのがよいと思う。

- ⑥ 早口で話す先生もいてメモを取りにくかった。ポイントの整理をしてほしい。(祐誠高校)
- ⑦ 各高校の取り組みの違いがよくわかった。
- ⑧ 高校によっては新設学科の紹介が漠然とした説明しかなかったのが残念だった。(祐誠高校)
- ⑨ 自分の判断が大事になってくる子どもたちにも参考になる内容だ。
- ⑩ 仕事等で時間的に放送を聴けない方々に対してもアーカイブ等で配慮がなされ、良い取組だと思った。
- ⑪ パーソナリティが各高校のキーワードなどを繰り返してもらったりするとより理解が深まるかもと思った。
- ⑫ 高校の先生によっては掛け合いが少なかったので、楽しく聴くというよりは、説明を聞いている、という感じになってしまっている気がした。(明善高校)
- ⑬ 男性の先生が多く出演されていたので、女性の進路・広報担当の先生方が増えることを期待する。
- ⑭ 番組制作サイドも、「複数出演する場合は、男性・女性の先生両方いらっしやると多様な視点での会話が弾むと思います」と女性の出演を進めてほしい。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表
自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、令和4年10月下旬に行う予定